

# 技術・家庭科（家庭分野）学習指導案

日 時 平成23年2月18日（金）第○校時

対 象 第1学年○組 ○○名

授業者 青梅市立○○中学校 ○○ ○○

場 所 被服室

## 1 題材名 「食生活についての課題と実践」

## 2 題材の指導目標

- ・中学生の食生活と栄養についての基礎的・基本的な知識と技術を活用して、家族の食生活を見直し、課題を見つけ、家族のために食生活をよりよくしようとしている。

## 3 題材設定理由

### （1）題材観

中学入学後「技術・家庭科（家庭分野）」で、初めて学ぶ「B 食生活と自立」の内容は、小学生までに「日常の食事と調理の基礎」の内容で、食事の役割や栄養を考えた食事、日常の調理の基礎を既に学んできている。これらの、既習事項を確認したうえで、この1年間（1）中学生の食生活と栄養（2）日常食の献立と食品の選び方（3）日常食の調理と地域の食文化について学習した。本題材は、これまで学習した知識や技術などを活用し、食生活に関する実践的な態度をはぐくむことをねらいとして、家族の食生活に関心を持ち、家族のために食生活をよりよくするための献立を考えることを取り上げた。本学習をとおして、生徒は家族とのかかわりを主体的にとらえることで、第2学年で学習する「A （2）家庭と家族関係」にもつなげたい。また、立てた献立を積極的に実践することで、よりよい家族関係を築いて欲しいと考える。

### （2）生徒観

（省略）

### （3）指導観

よりよい生活を創造し、社会の変化に対応できる生徒の育成を目指すため、今回、行った指導の工夫は、次の3点である。

#### ①実践的・体験的学習を効果的に取り入れた問題解決学習と指導法の工夫

- ・ 学習する内容が社会や身近な生活とを結び付くよう、一番身近でかかわりの深い家族に視点を置き、「家族の食生活」をテーマに取り上げることで、生徒は、立てた献立を実際に調理し実践したいという意欲と主体性を引き出した。
- ・ 生徒が疑問や問題に直面したとき、どのような解決方法があるかを自主的に考えることができるよう教科書以外に掲示物や書籍、図書館や自宅のインターネットなど多様な情報源を活用することを意識させた授業展開を行った。

#### ②言語活動を重視したワークシート

- ・ 課題の設定の仕方や、問題の解決の仕方を、穴埋め形式で順序立てて考えられるワークシートを工夫し、参考にした情報の入手先や、判断の根拠・理由を記すなど、思考過程や生徒の思考の変容が記録に残せ、生徒がそれを振り返ることで問題解決の手順や基本を学べるようにした。
- ・ 個人ワーク→グループ発表→他の人の意見を評価→個人意見修正→全体発表の流れに沿ってワークシートを構成し、「書く」「聞く」「話す」を意識した言語活動を重視した授業展開を考え、コミュニケー

ション能力の育成を図った。

③ワークシートと連動させた評価方法の試行

- ・国立教育政策研究所から示された「評価規準の作成のための参考資料」を基に、具体的な評価規準を設定し、ワークシートの記録から、授業中の発言も含めた評価補助簿を授業中に教師が使用することで、指導と評価の一体化が図られ、観点別評価の評価方法の試行を行った。
- ・今後は、設定した評価規準の客観性を検証し、教科全体の評価規準を作成し、評定や授業評価につなげていく。

4 年間（または全体）指導計画における位置付け

B 食生活と自立 (3) ウ 1時間/2時間

5 題材の評価規準

生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する 能力	生活の技能	生活や技術についての 知識・理解
家族の食生活に関心をもち、健康によい献立を考え、日常生活で実践しようとしている。	家族の食生活を見直し、課題を見つけ、これまで学んできた知識や技術を活用して、献立を自分なりに工夫し創造している。		

6 題材の指導計画と評価計画（全2時間扱い）

	小題材名	学習内容	評価規準	評価方法
第1時 (本時)	食生活についての課題と実践 「家族のために作る私の料理」 (選んだ人の1日分の献立を計画してみよう)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学習を振り返る</li> <li>・家族の食生活を見直す</li> <li>・作ってあげる人の食生活の課題と解決策を考える</li> <li>・既習事項や条件を考えて献立を考える</li> <li>・献立の発表（評価）</li> <li>・1年のまとめ</li> </ul>	<p>《関心・意欲・態度》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の中で作ってあげた人とその理由を考えている。</li> <li>・つくる料理の概要と期待される効果を考え、活用している</li> <li>・生徒間で積極的に意見を交換しながら献立を考えている</li> <li>・必要な情報を、適切に活用し、献立づくりに役立てている</li> <li>・学習内容を日常の食生活に生かそうとしている</li> </ul> <p>《工夫し創造する能力》</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・発言</li> <li>・宿題ワークシート</li> <li>・まとめアンケート</li> <li>・授業観察</li> </ul>
第2時				

7 本時の展開（第1時）

（1）本時のねらい

- ・家族のための献立について課題を明確にし、その解決を目指して献立作成に取り組みさせる。

（2）学習活動

	学習活動	教師の指導・支援	評価規準と評価方法
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで学習した内容の確認をする。</li> <li>・本時の目標を知る。</li> </ul>	<p>基礎基本の確認。</p> <p>1 栄養素、栄養の働き、食品の分類、献立作成法などの確認をする。 (まとめたプリントや板書、などで確認)</p>	
展開 (37分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までのプリントを用意する。</li> <li>・本時のワークシートに取り組みさせる。</li> <li>・宿題のプリントを参考にワークシートに記入する。</li> <li>・班ごとに一人ずつ発表する。</li> <li>・周りの掲示物の参考にしよう</li> <li>・個人で考える。(7分)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の目標を知らせる。</li> <li>1. 今まで学習してきたことを使って、課題「家族のための献立」を解決する（作成する）ことを知らせる。</li> <li>2. 必要な情報はどこを探せばよいか知らせる。</li> <li>3. 宿題を使って、課題の内容をより明確なものにする。*ワークシート「宿題のワーク」参照 (生徒の事例を紹介する。項目ごとに数人指名する。教師も例をあげる。)</li> <li>*本時に必要なワークシートを配布。</li> <li>・ワークシート「1日分の献立計画」を考えさせる。 (前時の宿題のワークシートを参考にさせる。) (記入できない生徒については、班の中で援助しあうよう知らせる。)</li> <li>・[1日分の献立計画]について記入できた班から班内で発表する。</li> <li>・具体的な献立作りについて説明する。</li> <li>・ワークシート【1】記入の方法を例を示して説明する。</li> <li>・まず、1食分から考えることを伝える。             <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 朝食、昼食、夕食のどれから考えるか決めさせる。</li> <li>2. 条件の欄には番号で記入させる。 (複数の条件を考えさせる。)</li> <li>3. 条件に合う食材を考え記入させる。</li> </ol> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価簿に記入</li> <li>・ワークシート「1日分の献立計画」 【創意・工夫】</li> <li>・ワークシート【1】献立作り 【創意・工夫】</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で作成した献立を班で発表する。(10分)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4. 調理法も複数考えさせる。</li> <li>5. 調理法も複数考えさせる。</li> <li>6. だんだん絞っていきながら、具体的な献立にたどり着けるように支援する。</li> <li>・献立が具体的にならない生徒については、周りの掲示物、本などを参考にさせる。</li> <li>・一食分の献立が作れたら、班で発表し合う。記入できない生徒に対して、班員がアドバイスを与えて考えられるように支援する。</li> <li>・班で代表者（発表を聞きながら指名しワークシートの【4】を記入させる。）は、プレゼンの準備をさせる。</li> <li>他の生徒は、2食め、3食めの献立を考える。</li> </ul>	
<p>まとめ (8分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表者が、発表する。</li> <li>・まとめアンケートを行い、ワークシートと共に回収する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表生徒に発表させる。</li> <li>*発表を聞いて、工夫されている献立や、条件に合っているもの、良かった点について評価する。</li> <li>・まとめアンケートを配布し、ワークシートと共に回収する。</li> </ul>	<p>ワークシート 回収後評価 【創意・工夫】</p>